

平成30年度 第1学年 後期授業アンケート 分析表

国語総合 (現代文)	前期に引き続き、多くの生徒が熱心に取り組んでいる。筆者の主張等を正しく理解し、文章に即して明確に説明する活動を通して、人の在り方や世の中の事象について思考を深めている。今後もさらに深い思考や表現ができるように指導していきたい。
国語総合 (古典)	前期に引き続き、多くの生徒が予習や復習に励んでおり、読解力が高まりつつある。時代背景や当時の風習等についても学ぶことで、古典を学ぶ楽しさと意義を実感しつつある。さらに学習の質を高め、教養のある人間として成長できるように指導していきたい。
現代社会	多くの生徒が授業に集中して取り組んでおり、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習を取り入れることで、学習に対する意欲が高まっている。学習した内容を実生活とリンクさせた形で制度や用語を理解できるような授業展開が引き続き必要である。
数学 I	授業の進捗や難易度についての評価は概ね良好であるが、予習が必ずしも十分でない実態がある。その点を改善し、授業の内容と働きかけによって、生徒が自主学習をおこなうようにしていきたい。
数学 A	授業の進捗や難易度についての評価は概ね良好であるが、予習が必ずしも十分でない実態がある。その点を改善し、授業の内容と働きかけによって、生徒が自主学習をおこなうようにしていきたい。
物理基礎	試験では暗記ではなく考える問題が多くなり、授業の難易度について5割近くの生徒が難しいと答えているが、7割以上の生徒が物理基礎への関心が高まったと答えている。今後も思考と実験を絡めた「考える」授業を展開していきたい。
生物基礎	多くの生徒が、授業を集中して取り組み理解を進めていると回答している。グループ活動の効果は高いことが分かるので、ペアやグループでの活動や実験を実施していくなど、より授業を工夫していきたい。
保健体育	12月より選択制授業を導入し、グループ学習等の場面を設定している。それにより、班員との協力の中で主体的な学びにつながっている。技能・体力の向上を含めた基礎基本の習得、同時にルール学習をしながら、2年生からのより主体的な学びへとつなげていきたい。
音楽 I	多くの生徒が、授業に集中し進捗や難易度も適切だと解答している。後期は、グループでのギターアンサンブルで、工夫し高め合いながら演奏することができた。三味線や篠笛の演奏でもお互い教え合う姿が見られる。さらに幅広い音楽の興味関心を高められるようにしたい。
美術 I	大半の生徒が集中して授業を受ける事ができている。グループ学習に関してはクロッキーやカラーカードを使用して、定期的に行うことができた。制作中の個別見回りも数を増やす事ができているのでこのままの調子でいけたらと思う。
書道 I	アクティブ・ラーニングでの協同学習も適度に取り入れ、新しい教育内容を推進できた。生徒は意欲的に取り組んでおり、新しい教材も徐々にも変化を加え、その結果生徒が書道に関しての興味関心も向上している。一層生徒にとって満足感が得られる授業を心がけたい。
コミュニケーション英語 I	「授業への集中度」、「関心の高まり」など前期に増して高次の回答をする生徒が増えており、英語学習に積極的に取り組んでいる様子がうかがえる。一方、予習・復習等の家庭学習については十分とは言えない生徒が散見され、家庭学習のさらなる充実が今後の課題である。
英語表現 I	生徒が「理解」した文法項目を使って、英語で「表現」できるようになることを目標としている。授業への集中度や関心は高く、ペアワーク等にも積極的に取り組んでいることがアンケートからうかがえるが、CI同様、家庭学習の充実が次の課題である。
家庭基礎	前期と同様に多くの生徒が授業に集中して真摯に取り組んでいる様子が伺える。今後はまとめとして、グループ学習の時間を増やし、様々な課題への問題解決に向けて、的確な判断力が育成できるような授業を展開していきたい。
社会と情報	前期と同様に多くの生徒は集中して授業に取り組んでいる。授業を通じてさらに高いレベルでの学びや資格取得、各種大会への参加を目指す生徒も増えてきているのでサポートしていきたい。引き続き興味関心が持てる授業の展開を心掛けていきたい。

平成30年度 第2学年 後期授業アンケート 分析表

現代文B	グループ学習は生徒に定着しよく取り組んでいると言える。予習等の学習状況も良好である。更なる興味や関心の高まりを期して、様々な文章を読みながら自己や世界について思考をめぐらす機会を多く提供していきたい。
古典B	予習の状況など学習への取り組みはたいへん良好である。グループ学習で他の生徒からの刺激も受けながら力をつけつつあると言える。古典の世界を楽しむ仕掛けや展開を常に意識しながら授業を進めていきたい。
世界史A	グループ学習を積極的に取り入れることで、多くの生徒の興味関心を引き出すことに成功している。現代史を中心に学習を進めており、日々の国際ニュースなどにも充分対応できるよう、教材の精選を進めていきたい。
世界史B	生徒の多様化により、従来の授業形式では対応しづらい状況がある。授業進度・内容についてさらに研究を重ね、グループ学習なども積極的に取り入れながら改善を続けていきたい。
日本史A	アクティブラーニングやフィールドワークを取り入れたりしながら、講義主体の授業展開をおこなってきた。授業の内容・進度・難易度に対しては、概ね満足との結果であった。引き続き、資料活用なども行いながら、思考・表現法などを高め、理解の深まりが進むようにし
日本史B	前期に比べ、改善されたとの回答を得た。ただし、授業理解の面では依然として問題があるので、今後も個々の生徒の状況にあわせて改善を行っていきたい。
地理A	グループ学習を適切に活用しながら、生徒の興味・関心が高まり、問題解決力や社会参画の意識が高まるよう工夫した。国連のSDGsの考え方を活用し、さらに意欲が高まるよう工夫したい。
地理B	系統地理に関する関連分野についての基礎を理解するため、グループ活動等を適切に活用しながら授業展開を工夫した。さらに、関心を高め、地理的な見方・考え方が身につくよう工夫したい。
倫理	「精神」・「理性」等、哲学特有の抽象的な言葉が多いが、生徒は、授業を通して自分の生き方なり方を意識しながら学習に取り組んでいることが伺える。引き続き、学習に対する意欲関心が高まるような授業展開に努めたい。
数学Ⅱ	授業の集中力、進度、難易度について肯定的な生徒が増加した一方、予習・復習にいつも取り組む生徒の割合は少し減少している。丁寧な指導は必要だが、予習・復習を前提とした授業が改めて必要になっている。課題提出や確認小テストなど、必要な指導を徹底する。
数学B	授業の集中力、進度、難易度について肯定的な生徒が増加した一方、予習・復習にいつも取り組む生徒の割合は少し減少している。丁寧な指導は必要だが、予習・復習を前提とした授業が改めて必要になっている。課題提出や確認小テストなど、必要な指導を徹底する。
物理	前期と比べて、科目への興味が高次へ移行した。生徒の興味は学習の原動力なので、今後も身の回りの現象との関連を大切にして授業を展開していきたい。あわせて、生徒が「聞く」だけでなく、「考える」授業づくりをしていきたい。
化学基礎	授業が進むにつれて、難しさを感じる生徒が増えているように思う。今後も実験を通して、興味関心を喚起するような授業展開を考え、生徒が主体となり学習に励めるような指導をしていきたい。
化学	理系科目としての高度な内容に移るにつれて関心を高める生徒が増えている一方で、意欲を減退させる生徒も現れてきた。生徒個々の興味関心を捉え、グループ学習などを推進してお互いに刺激しあい高めあう関係を作っていくようにしたい。
生物	授業に集中して取り組み、難易度が高い内容についても理解を進めていることがわかる。体系的な知識を構築するために、概念的内容をICTを使って復習したり、実験や観察を出来るだけ多く実施したり等、より授業を工夫していきたい。
実践 生物基礎	多くの生徒が、授業を集中して取り組み理解を進めていることがわかる。あまり実施できていないグループ学習なども機会をとらえて実施していくなど、より授業を工夫していきたい。
地学基礎	グループ学習や探究活動を単元毎に実施しており、生徒の理解や関心がさらに高まっていることがわかる。また、地学は自然災害や防災など生活に直結した科目であるので、身近な話題も取り入れながら授業を進めていきたい。
コミュニケーション英語Ⅱ	ペア・グループ活動を前期より頻繁に導入していることで、教科に対する関心も高まっている。しかし、予習・復習の習慣化が弱まっていることが課題である。来年度に向けて自立した学習習慣を身につけ、学力の定着に繋げていきたい。
英語表現Ⅱ	ペア・グループ活動を通して、授業に対する関心度は高くなっており、生徒は概ね授業内容に満足している。しかし、コミュニケーション英語Ⅱと同様、予習・復習の習慣化が弱まっているため、自律した学習習慣の定着のために日ごろの声かけによる指導を行っていきたい。
保健体育	前期の後半より選択制授業を実施し、班員と協力しながら行うグループ学習が充実したものとなってきている。体力面では若干の課題はあるものの、学習に対する意欲、技能は向上しているようである。3年生の男女共修選択制授業に向けてのよい準備期間にしていきたい。

平成30年度 第3学年 後期授業アンケート 分析表

現代文B	授業は概ね生徒の実態に即した難易度や進度になっている。またグループ(ペア)学習を取り入れることで生徒の新しい気づきや考えの深まりにつながっている。授業で理解したことを自分のものとし、更に深い学びとするために生徒が主体的に取り組めるよう工夫したい。
古典B	授業の進度や難易度は上がっているが、全般的によく努力している。その結果が授業内容の理解や古典に対する興味関心の向上にもつながっている。今後も一つ一つの言葉や表現を大切にして古典に対する理解や感動を深め、他者との対話や共生を志向する力につなげたい。
世界史B	授業への取り組みや分かりやすさについて肯定的な回答が多く、世界史に対する興味関心も高まっており、概ね良好な回答を得た。一方、授業内容と進度のバランスを考え改善の余地はある。今後も生徒の興味関心を喚起する授業となるよう教材研究や授業方法の工夫に努めたい。
日本史B	授業進度の確保に苦労したが、多くの生徒が難易度、進度などに肯定的な回答をしてくれた。単純な暗記でなく、深く思考する歴史学習を進めていくために、限られた授業時間の中で創意工夫をしていきたいと考えている。
地理B	概ね肯定的な回答が多かったが、さらに関心を高め、地理的な見方・考え方が身につくよう工夫したい。系統地理と地誌の両者のアプローチにより、多面的な理解が進んだ。今後もグループ活動等を適切に取り入れながら、思考力の高まる工夫を重ねたい。
政治・経済	模擬国連を取り入れたアクティブラーニングの授業や、難民問題や国際貿易などの国内外の時事問題にリンクした授業を展開したため、生徒は授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。引き続き、知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決にむけて協議・討論するような授業に取り組みたい。
数学Ⅲ	授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っている。生徒は概ね意欲的に取り組んでいる。内容の理解に苦労している生徒には、家庭学習と授業を有機的に連携させるよう指導することで、授業の理解を高めさせたい。
発展数学ⅠAⅡBα(文系)	授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っている。授業中の取組の姿勢は概ね良好だが、予習や復習という点には、やや不十分さが見られる。適宜グループ学習を取り入れながら、今後も基本を押さえ、わかりやすい解説を行っていく。
発展数学ⅠAⅡBβ(文系)	授業の難易度、進度とも生徒の実態に即しており、授業中の取組の姿勢は概ね良好だが、予習や復習という点には、やや不十分さが見られる。2クラス3展開の少人数(習熟度別)授業の効果もあったと思う。今後も基本を押さえ、わかりやすい解説を行っていく。
発展数学ⅠAⅡBⅢ(理系)	授業の難易度、進度とも適正であり、生徒たちも概ね理解に努めている。既習事項のまとめとしての問題演習が多く、グループ活動を行う機会は設けにくいだが、グループ活動によって理解が高まるという生徒も多く、内容によっては機会を増やしたい。
物理	大部分の生徒が集中して取り組んでいる。ただ、理解したような気分になっているだけの生徒も少なくない。生徒が積極的に参加できる授業づくりを心がけ、単にわかりやすい授業ではなく生徒の思考が深まるような授業を展開したい。
化学	前期同様、授業へ集中する態度、授業の進度・難易度・分かりやすさ等、概ね良好な回答である。しかし、多くの生徒が目指す大学進学へ向けた学力の育成に課題が残る。実験等の体験的な学習を効果的に活用しながら、今後もより良い授業へ進化させていきたい。
実践化学基礎	前期と比べ、授業の取り組みに対する生徒の自己評価が下がった。後期は入試を見据えた演習が多くなるが、生徒が主体的に考え、興味関心を引き付ける授業の工夫を今後も続けていく必要がある。
生物	生徒の意欲、授業の進度・レベルなどは比較的良好な意見が多かった。多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。今後は先端の内容を含め、高度な内容を扱う授業も心掛けたい。
実践生物基礎	多くの生徒が、授業を集中して取り組み理解を進めていることがわかる。あまり実施できていないグループ学習なども機会をとらえて実施していくなど、より授業を工夫していきたい。
実践地学基礎	生徒の意欲や理解はおおむね良好である。後期になり個別での問題演習が中心になったが、発問や問いかけにより言語活動も取り入れながらさらに意欲を高めていきたい。
コミュニケーション英語Ⅲ	総じて授業満足度は高く積極的に学習に取り組んでいる姿勢がうかがえる。協調的学習としてのペアワーク、グループワークでの言語活動が効果的に機能し、生徒一人一人の英語に対する意欲関心の育成に良い影響を与えている。
英語表現Ⅱ	どのクラスでも積極的に授業に参加している様子がうかがえる。協調的学習としてのペアワーク、グループワークの実施頻度も高く、4技能を統合しつつ「書く」「話す」に主眼を置いた授業が生徒に良い効果を与えていることがうかがえる。
保健体育	後期で男女共修選択制授業を実施した。これまでの取り組みを基本に、リーダーが中心としたメンバーとの協力の中で、活発な生徒主体の取り組みができてきた。技能向上の楽しさを味わいながら、卒業後の生涯体育につながる力を身に付けることができたと感じる。